

## 全業種で経費負担の増加が継続、収益を圧迫

運送関連ではドライバー不足による機会損失及び配送効率の停滞が顕著

～景況DI値は、前年同月比2.6ポイント上昇のマイナス18.4～

\*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

### 1. 10月鳥取県内の中小企業景況

**売上（受注）高** 製造業では、DI値前月比15.7ポイント低下のプラス26.3、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比68.3ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比21.0ポイント上昇のプラス26.3。

**販売（受注）価格** 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のプラス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のプラス15.8。非製造業では、DI値前月比15.7ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス42.1。

**収益状況** 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス36.9。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス5.2。

**資金繰り** 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比4.9ポイント上昇のマイナス10.6。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比同水準のプラス5.3。

**雇用人員** 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比10.4ポイント上昇のマイナス21.1。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比0.1ポイント上昇のプラス5.3。

**景況** 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス26.3、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0。

**県内中小企業の景況は**、全業種景況DI値は、前月比10.6ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比2.6ポイント上昇のマイナス18.4となった。製造業では、原材料、光熱費等の高止まりが継続しているうえ、需要が停滞傾向にあり、売上高、収益状況は前月比、前年同月比ともにマイナスで推移し改善の兆しが見られない。非製造業では、10月はねんりんピックの開催もあり観光関連や宿泊関連を中心に好調を維持したものの、非製造業全体としては依然として物価高騰による経費負担の増加、消費マインドの低下が続いている。県内景況は、全業種で原材料等仕入れ価格の高騰が続いているうえ、燃料価格、輸送コストの上昇、最低賃金改定に伴う人件費の上昇など経費負担の増加が収益を圧迫しており業況は引き続き厳しい。また、人手不足も深刻化しており、運送関連ではドライバー不足による機会損失及び配送効率の停滞が顕著となっており、先行き不透明な状況が続いている。

## 2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

10月の全国倒産は、件数925件で、（前年同月790件、17.1%増）と、30カ月連続で前年同月を上回った。2024年では5月（1016件）に次いで2番目に多く、10月としては2013年（918件）以来の900件超えとなった。負債総額は1755億6800万円（前年同月3055億8400万円、42.5%減）と、3カ月連続で前年同月を下回った。

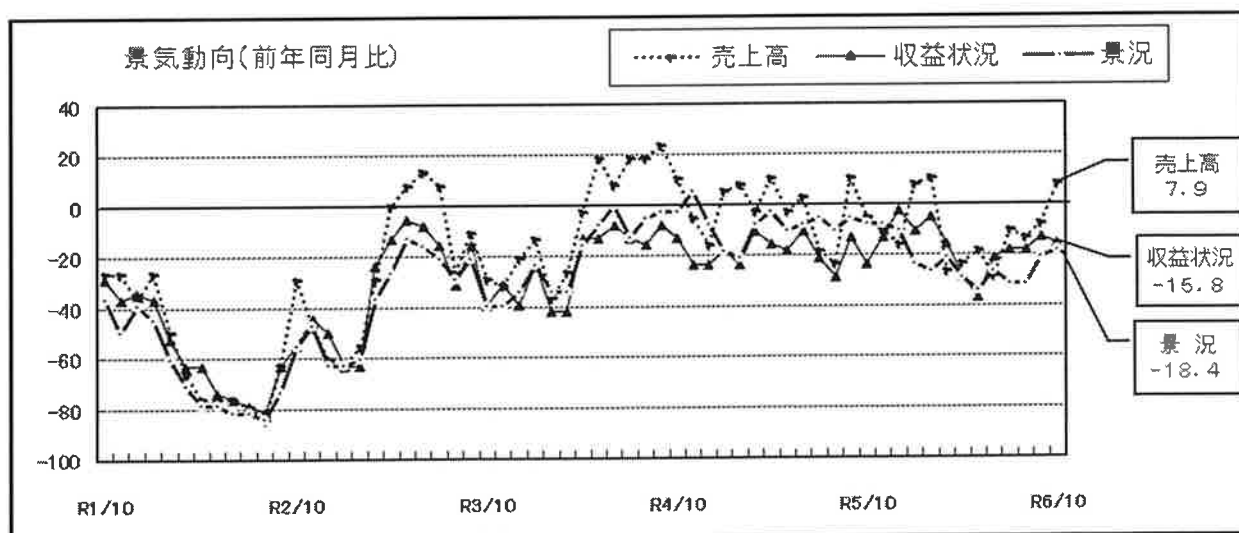
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件（前月3件）、負債総額は2億1000万円（前月11億3000万円）であった。

## 3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」）

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.25倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.24倍）で、前月より0.03ポイント上回った。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.14倍、米子所1.39倍、倉吉所1.30倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.35倍（季節調整値）で、前月より0.13ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比6.9%減少し、有効求人数も7.0%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、サービス業（22.5%）、卸売業・小売業（12.5%）、運輸業・郵便業（7.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比9.2%減少、有効求職者数は前年同月比0.2%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.09倍で、前年同月比で0.16ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ0.6%減少した。



## 10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	36.8%	10.5%	26.3 -15.7	42.1%	21.1%	21.0 68.3	39.5%	15.8%	23.7 26.3
(2)在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 -5.3	8.3%	8.3%	0.0 25.0	9.7%	9.7%	0.0 6.4
(3)販売価格	15.8%	10.5%	5.3 -5.2	26.3%	5.3%	21.0 15.7	21.1%	7.9%	13.2 5.3
(4)取引条件	5.3%	0.0%	5.3 5.3	0.0%	0.0%	0.0 5.3	2.6%	0.0%	2.6 5.2
(5)収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 -10.5	26.3%	15.8%	10.5 -10.5	18.4%	26.3%	-7.9 10.5
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 -5.3	21.1%	5.3%	15.8 26.3	13.2%	10.5%	2.7 10.6
(7)設備操業度	21.1%	15.8%	5.3 5.3						
(8)雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	0.0%	0.0%	0.0 10.5	2.6%	5.3%	-2.7 7.9
(9)景 況	10.5%	36.8%	-26.3 0.0	15.8%	15.8%	0.0 21.1	13.2%	26.3%	-13.1 10.6

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	31.6%	42.1%	-10.5 10.6	42.1%	15.8%	26.3 21.0	36.8%	28.9%	7.9 15.8
(2)在庫数量	10.5%	26.3%	-15.8 5.2	16.7%	0.0%	16.7 8.4	12.9%	16.1%	-3.2 6.4
(3)販売価格	26.3%	10.5%	15.8 -10.5	47.4%	5.3%	42.1 5.3	36.8%	7.9%	28.9 -2.7
(4)取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	2.6%	13.2%	-10.6 -2.7
(5)収益状況	10.5%	47.4%	-36.9 -10.6	26.3%	21.1%	5.2 5.2	18.4%	34.2%	-15.8 -2.6
(6)資金繰り	10.5%	21.1%	-10.6 4.9	21.1%	15.8%	5.3 0.0	15.8%	18.4%	-2.6 2.6
(7)設備操業度	15.8%	21.1%	-5.3 -5.3						
(8)雇用人員	10.5%	31.6%	-21.1 10.4	5.3%	0.0%	5.3 0.1	7.9%	15.8%	-7.9 5.3
(9)景 況	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	21.1%	21.1%	0.0 10.5	13.2%	31.6%	-18.4 2.6

\*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

\*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

#### 4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

### 製造業

#### 【食料品】

一般食料品⇒ 売上高は増加、取引条件も価格転嫁が順調に進んだが、最賃アップによる人件費の上昇により収益は悪化した。全国各地で鳥インフルが頻発し鶏卵価格が急上昇しており、年末にかけて一段と高騰するのではと危惧している。

醤油 ⇒ 10月の売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となった。外国からの訪日客が増えているが、業界には目立った影響などはない。

#### 【繊維工業】

繊維製品 ⇒ 市場として昨年同月比の売上高は20～30%減少で推移している。それに伴い生産需要は例年よりも低下傾向にある。

ニット製品 ⇒ 衣料品消費は輸入品による供給過剰が継続しており、デフレからの脱却が構造的に困難となっている。国内メーカーは円安コスト高、人件費アップなどの価格転嫁は厳しく、生産量確保だけで精一杯な状況。

#### 【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。

#### 【木材・木製品】

製材品 ⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加、前年同月比で同水準、製材品、合板の生産量は先月比で微増となった。製材品の生産量については前月より増加しているものの、年末にかけての好材料が乏しいことが影響しており今後の実需は不透明なまま。県産材使用の戸建て住宅についても戸数の減少に加えて平屋建てなど一棟当たりの床面積の減少で木材使用料は減っている状況。プレカット加工の稼働率は前月比80%増加、前年同月比は125%増加で推移した。

#### 【紙・加工品】

和紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となり、引き続き業況は厳しい。

#### 【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、選挙と年金関連イベントの影響で活気を帯びた一方で、内製化の推進により業界への外注依存が減少した。10月は特に売上が75%増と顕著な伸びを見せたものの、市場の不透明性や新規事業の見積もりが必要な案件が増えているため、戦略的な計画立案が今後の成長を左右する。年度末に向けての営業活動が重要であり、内製化によるコスト削減とデジタル化の進行が、業界の持続可能な成長を支える鍵となる。

#### 【窯業・土石製品】

生コン ⇒ 10月の生コン出荷量は、前月比で約2%増加、前年同月比で約46%増加となった。東部地区では依然昨年夏の豪雨に係る災害復旧工事案件が増えつつあるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では前年割れが続き低調に推移していたが、9月、10月と前年同月比を上回る動きを見せた。西部地区では受注は年度当初低調であった

が、10月は9月に引き続き前年同月比を上回る動きを見せた。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

### 【金属製品】

**金属加工**⇒ 建築関係は、県内物件は少なくなっている。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いているうえ、県外物件を受注している会社との格差が広がっている。機械加工は、堅調だった自動機関連の受注に陰りが窺える。自動車関連は受注につながる動きが見られない。工作機械関係は相変わらず厳しい状況が続いている。電炉メーカーは、市況の早期底入れとすべく価格据置きとしたが、低価格傾向に変わりなく、採算は厳しい。

**鉄骨加工**⇒ 新規建築について県内、県外とも見積物件の動きは鈍く少なく、年始から年度末にかけて新規受注工事の確保に苦慮する傾向が窺える。各社で先行き不透明感が続くことから、建築鉄骨以外のプラント設備等金物工事、橋梁補修工事、現場改修工事などで食いつないでいる状況。

**金属熱処理**⇒ 当月はエネルギー関係部品の受注が多かったため、前月比、前年同月比ともに受注量は増加した。全体的に受注量が若干戻り始めた状況も見えてきているが、このまま改善するかは不透明である。電力料金やガス料金等のエネルギーにかかるコストは高騰したままであり、依然として利益を圧迫している。

### 【電気機械器具】

⇒ 依然業界は低迷したままである。年内の回復は見込まれず、年度内の回復も不透明なままである。設備投資も低迷しているうえ、人材不足は深刻化している。賃金の上昇は避けられず、原価の上昇により利益確保が困難な状況となっている。部材も前月まで調達できていたが、一部部材の納期遅れで生産に影響が出ている。

## 非製造業

### 【卸売業】

**東部地区**⇒ 青果関係では、前月比では取扱数量が増加したものの、単価の低下により売上高は減少している。前年同月比では売上高、取扱数量ともに増加となった。野菜の取扱い数量は増加しているものの、果実の数量は年々減少傾向となっている。鮮魚関係では、売上高、取扱数量は前月比、前年同月比ともに増加となった。11月は松葉ガニの解禁もあり、これからの景気に期待が持たれる。元値の上昇から価格転嫁をせざるを得なく、卸価格の値上げが相次いでいる。

**中部地区**⇒ Windows 10のサポート終了が1年を切り、パソコンの切り替えに動きが出てきており、今後の受注に期待が持たれる。

**西部地区**⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の貸出の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。

**水産物**⇒ 巻き網は比較的安定的に20～30gの小羽いわしの水揚げが続いたものの、大漁日はなく総水揚げ量も昨年を下回る結果となった。下旬にハマチ、ブリの水揚げもあり気温低下に伴い寒ブリ漁の期待が高まりつつある。近海底引き物はタラの豊漁もあり順調な水揚げとなり、スルメイカも昨年比に比べれば水

揚げに恵まれた。紅ズワイ漁は漁船の事故もあり昨年を下回る水揚げ量となり、姿売り用の成体は高値となったが、加工用は市場の不安定さもあり需要の伸びがみられず比較的安価な浜値となった。

リサイクル原料⇒ ペーパーレス化により古紙の発生が減少している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

#### 【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、10月はねんりんピックが開催され近隣に宿泊した参加者や関係者の来街も多く、飲食店等は一定程度集客に繋がったものの、引き続き小売業などは厳しい状況。原在料高等の仕入れ価格に加え、高熱費上昇、原油高、最低賃金の上昇に伴う人件費負担により収益を圧迫している。価格転嫁を図るものの、転嫁により客離れを起こすなど、とにかく消費者の財布の紐は固く、消費マインドは停滞したままであり、状況は厳しい。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、多くのイベントがあった10月であった。「ねんりんピック」の県内開催にあわせ、倉吉銀座商店街も倉吉の“福高”を願い「福高祭2024～アートで福高～」イベントを実施。好天にも恵まれ、恒例のバルーンリリースも大成功を収めた。また、ゲストに南海キャンディーズのしずちゃん、地元アーティストの伊吹春香さん、高校生の SAWA さん、サウンドクリエイターの DJ YUTA さんなど多くのゲストにも出演頂き大いに盛り上がりを見せた。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、売上高などに関しては、例年と比べて増減はなくほぼ横ばいで推移した。ソウル便の就航や香港便の始動で、韓国・香港の観光客の方々の来店が増加傾向となっている。英語しか通じない場面も多く、メニューや接客での英語対応が今後益々必要となってくる。

境港市の水産物小売では、前月比、前年同月比ともに観光客の増加に伴い売上、収益、施設来場者数が増加傾向にある。また、観光シーズンに入り、平日の来場者が増加している。現状国内観光客がメインであるが、今後はインバウンドによる回復に期待が持たれる。

#### 【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、10月は減少傾向で推移し、12～14日の三連休の入込数は増加したものの、それ以降は悪天候の日が多くその影響で、砂の美術館、鳥取砂丘への入込数は減少した。結果的に売上高は前月比、前年同月比ともに減少し収益状況は悪化した。

米子市のホテル・旅館では、宿泊者は前年並みで推移した。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁ができていない。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、前年同月と比較して団体客が増加した。9月以降は台風等の影響もなく昨年より観光客が増加傾向となっている。インバウンド客についても団体、個人ともに増加している。

羽合温泉では、10月の宿泊は前月比約15%増加、前年同月比約40%増加となった。増加の要因としては今年の大イベントであるねんりんピック関連の連泊が宿泊客数の伸長に繋がった。また台風等の影響もなく、天候に恵まれたことで旅行の後押しとなった。

#### 【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて2,290台で前月比は普通車5.

4%の増加、軽自動車15.4%の減少、前年同月比は普通車18.4%の増加、軽自動車8.4%の減少であった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて638台で前月比4.9%、前年同月比5.8%の減少であった。継続検査（軽自動車を含む）は15,437台で前月比0.3%、前年同月比0.5%の減少であった。

### 【建設業】

⇒ 8月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額101億円(前年同月比4.5%減)、件数178件(同2.3%増)となった。年度累計(令和6年4月～令和6年9月)は、請負金額615億円(前年同月比13.3%増)、件数1,117件(同12.8%増)となった。公共投資は6か月ぶりの前年同月比マイナスも、年度累計ではプラスが続く。設備投資は単月、3か月平均ともに連続で前年同月比プラスが続く。住宅投資は単月で前年同月比マイナスに振れるも、3か月平均はプラスが続いた。資材価格の高騰が続く中、長期の民間工事では見積りからの資材価格の高騰率が高く、収益悪化に影響をきたしている。また、技術者の深刻な人手不足による受注損失も発生している。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は183戸(持家133戸、貸家50戸)で、前月比31%減少、前年同月比5%減少となった。

### 【運輸業】

**東部地区**⇒ 10月の物流は、製造業の輸送量や農作物の出荷量も順調で、全体の輸送量としては良好な動きとなった。復路荷物の情報量は増加傾向であり、荷物の不足傾向は徐々に解消され運行の効率は改善されてきている。一方で2024年問題により長距離からの撤退やコンプライアンスの徹底などが浸透し、ドライバー不足と相まって、車両不足が顕在化しつつある。売上高は、前月比、前年同月比ともに増加した。業況は好転の兆しは見られるものの、燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、慢性的なドライバー不足の問題もあって、今後も厳しい状況に変わりはない。

**西部地区**⇒ 10月の燃料価格については、原油価格の変動のほか、配送コスト上昇も要因となり若干上昇した。引き続き高止まり状態は継続しており、コスト圧迫の主要因となっている。全体的な荷動きについて、10月は若干増加に転じた。為替動向の追い風を受け輸出関連の荷動きが好調に推移した。また、農繁期による出荷ピークを迎え若干明るい兆しが見えた。しかしながら、人員不足による配送効率の停滞は深刻であり、早急な問題解決が必要であると思われる。

## 5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・業界全体のデジタル変革を推進する政策的支援を求める。【印刷業】
- ・電気料金の値下げを望む。【金属熱処理業】
- ・消費税減税等、負担軽減策を打ち出して欲しい。【卸売業】
- ・消費税減税等、負担軽減策を打ち出して欲しい。【商店街】
- ・地域活性化に対する支援を望む。【商店街】

## 最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	15.8
	非製造業	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	0.0
	全業種	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	7.9
在庫数量	製造業	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8
	非製造業	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	-16.7
	全業種	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	16.1
販売価格	製造業	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	21.1
	非製造業	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	21.0
	全業種	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	21.1
取引条件	製造業	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3
	非製造業	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3
	全業種	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	5.3
収益状況	製造業	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-15.8
	非製造業	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	-15.8
	全業種	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-15.8
資金繰り	製造業	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	0.0
	非製造業	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8
	全業種	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	8.0
設備操業度	製造業	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	10.6
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	5.3
	非製造業	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	0.0
	全業種	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	2.6
景況	製造業	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	0.0
	非製造業	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	-10.5
	全業種	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-5.2



## 最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	26.3
	非製造業	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	0.0
	全業種	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2
在庫数量	製造業	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	10.5
	非製造業	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0
	全業種	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	16.2
販売価格	製造業	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	10.6
	非製造業	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	0.0
	全業種	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	5.2
取引条件	製造業	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	5.3
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0
	全業種	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	2.6
収益状況	製造業	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	15.7
	非製造業	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	-0.1
	全業種	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	7.8
資金繰り	製造業	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	10.1
	非製造業	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	5.3
	全業種	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	7.9
設備操業度	製造業	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	31.5
雇用人員	製造業	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-5.3
	非製造業	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	10.5
	全業種	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	2.6
景況	製造業	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-10.5
	非製造業	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-10.5
	全業種	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-10.5

情報連絡員報告総括表(令和6年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況							
	増加	減少	増加	減少	上昇	低下	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	低下	増加	減少	好転	悪化						
食料品	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1					
繊維工業	0	2	1	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2					
木材・木製品	3	0	1	0	0	3	1	0	4	0	3	1	2	2	0	3	1	1	2					
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1					
出版・印刷	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0					
化学ゴム																								
窯業・土石製品	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0					
鉄鋼・金属	0	2	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1					
一般機器	2	1	0	0	1	2	0	0	3	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3					
電気機器	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0					
輸送用機器																								
その他																								
19	7	10	2	2	3	14	2	1	18	0	7	1	15	3	4	12	3	1	16	2	2	10	7	
100%	36.8%	52.6%	10.5%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	52.6%	36.8%	
卸売業	1	3	2	0	5	1	4	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	
小売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
商店街	1	3	0	0	4	0	1	3	0	4	0	4	0	0	4	0	4	0	4	0	0	4	0	
サービス業	2	1	2		1	4	0	0	5	0	2	2	2	1	0	5	0	1	2	2	2	2	2	
建設業	1	0	0		1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
運輸業	2	0	0		1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	1	0	
その他																								
19	8	7	4	1	9	1	5	13	1	0	19	0	5	11	3	4	14	1	0	19	0	3	13	3
100%	42.1%	36.8%	21.1%	8.3%	75.0%	8.3%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	26.3%	57.9%	15.8%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	68.4%	15.8%
38	15	17	6	3	24	3	8	27	3	1	37	0	7	21	10	5	29	4	4	35	2	5	23	10
100%	39.5%	44.7%	15.8%	9.7%	77.4%	9.7%	21.1%	71.1%	7.9%	2.6%	97.4%	0.0%	18.4%	55.3%	26.3%	13.2%	76.3%	10.5%	21.1%	92.1%	2.6%	13.2%	60.5%	26.3%

情報連絡員報告総括表(令和6年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	1	0	1	1	0	1	2	0	0	1	1	0	2	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1		
繊維工業	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	1		
木材・木製品	2	0	2	0	4	0	0	4	0	0	4	0	1	2	0	2	1	3	0	0	3	1	0	2	2		
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1		
出版・印刷	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1		
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0		
鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2	0		
一般機器	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0		
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
輸送用機器																											
その他																											
19	6	5	8	2	12	5	5	12	2	1	15	3	2	8	9	2	13	4	3	12	4	2	11	6	1	10	8
100%	31.6%	26.3%	42.1%	10.5%	63.2%	26.3%	26.3%	63.2%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	42.1%	47.4%	10.5%	68.4%	21.1%	15.8%	63.2%	21.1%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	52.6%	42.1%
卸売業	2	3	1	0	6	0	2	3	1	0	6	0	1	5	0	1	5	0				0	6	0	0	6	0
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	1	0	0
商店街	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
サービス業	1	2	2				3	2	0	0	4	1	2	1	2	2	2	1				1	4	0	2	1	2
建設業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1
運輸業	2	0	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0				0	2	0	1	1	0
その他																											
19	8	8	3	2	9	0	9	9	1	0	17	2	5	10	4	4	12	3				1	18	0	4	11	4
100%	42.1%	42.1%	15.8%	16.7%	75.0%	0.0%	47.4%	47.4%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	26.3%	52.6%	21.1%	21.1%	63.2%	15.8%				5.3%	94.7%	0.0%	21.1%	57.9%	21.1%
38	14	13	11	4	21	5	14	21	3	1	32	5	7	18	13	6	25	7	3	12	4	3	29	6	5	21	12
100%	36.8%	34.2%	28.9%	12.9%	67.7%	16.1%	36.8%	55.3%	7.9%	2.6%	84.2%	13.2%	18.4%	47.4%	34.2%	15.8%	65.8%	18.4%	15.8%	63.2%	21.1%	7.9%	76.3%	15.8%	13.2%	55.3%	31.6%